



PRESS RELEASE

令和3年6月30日

取手市教育委員会

令和3年度 取手市立山王小学校オープンキャンパスの開催

(7月13日(火)、15日(木))

令和3年度より、取手市立山王小学校は小規模特認校へ移行し、市内より広く児童を募集しています。

この4月より新たに小学校6年間を通して「創造する力、表現する力」を育ていく、特色ある学校教育プログラムに取り組んでいます。

今回、上半期の取組状況についてご参観いただくことができるよう、下記の通り、山王小学校においてオープンデーを開催致します。

山王小学校への転入学をご検討のご家庭、また、小規模特認校の学校教育にご関心いただきます皆様にもぜひご見学いただきたく、ご案内申し上げます。

記

令和3年度山王小学校小規模特認校 第1回オープンキャンパス

1. 日 時

令和3年7月13日(火)

【午前の部】10時30分～11時50分(80分)

【午後の部】13時40分～15時00分(80分)

令和3年7月15日(木)

【午前の部】10時30分～11時50分(80分)

【午後の部】13時40分～15時00分(80分)

2. 会 場

取手市立山王小学校(取手市山王380)

電話:0297-85-8205

3. 公開内容

(1) となりのスタジオ「マテリアル・ガーデン」公開

この上半期にアーティスト クレムさんと子どもたちが活動を行ってきたとなりのスタジオを公開します。今回のテーマは「マテリアル・ガーデン」。子どもたちは、一人一鉢のマリーゴールドを育て、また、スタジオ内には、稲、麦、コットンが育っています。これらは、創作の素材である絵の具や糊



などになります。当日は、クレムさん、TAP 職員が上半期のとなりのスタジオの活動についてご説明します。また、来場されたお子さんにも、絵を描いたり、色を塗ったりなど、体験活動を楽しんでいただく予定です。

(自由参観)

(2) 「オール・イングリッシュ (英語だけで進められる授業)」の授業参観

令和3年度より着任しました英語スペシャリスト教員ルー先生が、英語だけで進める授業を行います。(授業参観)

(3) 「就学相談・個別説明」

山王小学校への入学、転校をお考えのご家庭など、ご心配ごと、ご不明な点など、個別にご相談に応じます。

3. コロナ感染対策について

- ・当日は自宅での事前検温を行っていただき、軽度であっても熱がある方、体調のすぐれない方は、入場をご遠慮願います。
(例：発熱・咳・咽頭痛・味覚障害などの症状がある場合)
また、下記に該当される方につきましても当日の参観につきましては、ご遠慮願います。
 - －新型コロナウイルス感染症の陽性と判明した方とのイベント参加日の14日以内に濃厚接触がある場合
 - －同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - －過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている・国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ・当日、受付にて、連絡先登録へのご協力をお願い致します。
- ・来場される際は、必ずマスクをご着用願います。
- ・入退場時には、手指のアルコール消毒をお願い致します。
- ・社会的距離(2メートル)を確保するため、入場制限や座席の間隔を空ける等の対応を行います。
- ・会場内での飲食はご遠慮願います。
- ・その他、学校の指示に従い、新型コロナウイルスの感染拡大防止にご協力をお願い致します。

4. 報道機関の皆様へ

7月13日(火)、15日(木)のオープンキャンパスは、取り組み状況について報道等による写真撮影をさせていただき、来場者へご案内する予定です。つきましては、当日は、貴社腕章ならびに、小学校よりご用意いたしますビブスの着用につきましてご理解、ご協力いただきますよう、よろしくお願い致します。



問い合わせ先	<p>1. オープンデー（7月13日、15日）ならびに 山王小学校の取り組みについて 取手市立山王小学校 教頭 西尾 電話：0297-85-8205</p> <p>2. 小規模特認校について 取手市 教育委員会 教育総合支援センター 担当者：松戸，篠田 電話：0297-74-2141（内線 3077） E-mail：sogoshien@city.toride.ed.jp</p>
--------	--



(資料1)

令和3年度 となりのスタジオ「マテリアル・ガーデン」の活動の様子

令和3年度も昨年度に引き続き、山王小学校にクレムさんを招聘し、令和3年5月14日にと
なりのスタジオを開設しました。今回のテーマは「マテリアル・ガーデン」です。

創作の素材となる植物、土、虫がスタジオに集まりました。児童一人一人が自分だけのマリー
ゴールドに名前をつけて育て、稲、麦、コットンなど、スタジオ内で様々な素材の元となる植物
を育てました。植物は色をつける材料になったり、材料を貼り合わせる糊になったりと自然から
得られる素材の実験を皆で行いました。

植物が色をつける材料となったり、また、枯れて虫の食べ物になったり、虫の糞は土に帰った
り、と自然の循環について、その循環における人間社会との関わりなど、子どもたちは感じるこ
とができたことと思います。



スタジオ開設に向けクレムさんがスタジオ道具の運び込みをしています。



児童一人一人がマリーゴールドに名前をつけ、育てました。絵の具になったのか？はたまた土に

